



慶 林よしいさん百歳

「南無阿弥陀仏」 「有り難うございます」とい

明治四十一年生まれで、光寿会最高齢林よしいさんの日頃は、三輪病院での車椅子による生活ですが十一月三日の満百歳の誕生日には、子どもや孫達の集まった自宅に一時帰宅され、安念市長の代読による石井知事、内閣総理大臣からのお祝状や記念品、市長自身の祝状、記念品、花束、市議会議員、市老連副会長、般若自治振興会長、頼成委員長、光寿会長から順々に、記念品が「おめでとうございます」の祝詞と共に手渡され、その都度よしいさんからは



う元気なお礼の言葉が、幾度も繰り返された。

市長が「私の任期十年中で、あなたが十八人目の百歳祝になります」と話しながら、よしいさんの肩に優しく手を添えて、明治、大正、昭和、平成の四代百年を生き抜いてこられた

た人生に劳いの言葉をかけられた。

そのあと、林茂之振興会長や林孝行自治会長が「おめでとう」と言いながら近寄りられると

「あんな誰やったかね、良く顔見せられ」と、近々と顔を寄せて確かめながら懐かしがっておられた。

同日、今年白寿を迎えられた林もといさんに

光寿会よりのお祝いが贈られた。明治四十二年生まれのもといさんは、ふさふさとした髪で顔の色も良く、腰も曲げずにゆつくり歩いて出てこられた。林成憲会長よりお祝状と記念品、開田紀子副会長より色紙と花束が贈られた。開田副会長の生い立ちの話や八田嵩副会長の川原田圃での思い出話に興じられるもといさんを見てみると、まだまだ長い人生を送られる方だと思つた。

(林 勉一 記)



公民館・般老連高齢者学級共催の第二十一回地域巡りが、かなり肌寒い十一月九日、五十名が参加して実施されました。

今回は庄川用水事務所の志部谷知則さんを講師に、合口ダム、雄神発電所、弁財天などをまわりました。ダムは昭和十四年に造られ、県西部約一万二千畝に農業用水を供給して

いるそうです。次に訪れた雄神発電所は昭和四十二年に建設され、地下四階一万二千キロワットAWの出力を持つているそうです。最後に弁財天へ行きましたが、ここは用水関係者を中心に毎年七月二十五日に例祭を行うほか、三十三年に

書(馬)と六個の瓢箪

開田勇さんの公民館祭出展作



四月に自宅の裏庭で種を蒔き丹誠込めて育てた瓢箪。乾燥、中身の除去、磨き、着色に長い時間を掛けて完成されました。六瓢(むびょうと

読む)は無病に通じ、健康長寿・家内円満をもたらす縁起物だそうです。公民館祭りに書と共に出展されましたが、年を重ねられてもいろんな趣味を持ち充実した日々を過ごしておられる様子を見させていただき、感動を与えてもっています。(開田紀子 記)

(三門明外二 記)

子年忘年会

日時 十二月十一日 午前十時

参加費千五百円 於いかるぎ館

喜寿お祝い・奇術・余興など

多数の会員の参加をお待ちしています

喜寿祝招待者御芳名

- 八田 政夫 様 善 導 林 薫 様 川 原
- 林 敏夫 様 公 文 名 林 敦 子 様 坂 東
- 林 絹子 様 公 文 名 林 明 子 様 善 導
- 林 久子 様 正 覚 林 明 子 様 公 文 名
- 林 末子 様 公 文 名 林 明 子 様 公 文 名

季節のうた
旅終へて又もとの日や蒸洗ふ
故坂東そとい句集「柿の花」より

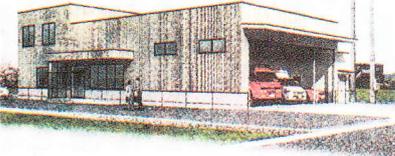


大株立て「泉水」 林喜與志さん

延喜式内林神社の秋季例大祭は薄曇りの十一月三日午後三時より齋行されました。神官の祝詞、氏子総代の玉串奉奠などの一連の祭事が、林さん(成憲さん方)、堀尾さん(外志子さん方)ら二人の巫女さんが奉仕して行われました。これに先立ち早朝六時半より頼成下村獅子方若連中による獅子舞がスタート、七時に宮参りをしたあと、川原、善導、公文名の順に域内七十八戸を巡回。昼食は善導の林正範さん宅、休憩は公文名の八田浩資さん宅、夕食は公文名の林義夫さん宅で行われました。

本年は三年に一度の宿替えの年に当たり、四日夜、いかるぎ館から善導の高島尚志さん宅にお宿替えが行われました。関係者の方々には大変ご苦勞様でしたが、地域の大切な伝統的民俗行事であり、今後とも守り続けて頂きたいものと思います。

完成予想図



来年十月業務開始
消防の庄東出張所
 砺波広域圏消防本部の庄東出張所の建設工事安全祈願祭が五日庄東小学校近くの現地で行われました。

敷地は千四百四十平方メートル二階建てで、消防車、指令車、救急車各一台が配備されるほか、研修室も備え地域の自主防災組

らんじよ浮世亭



11月の浮世亭は席亭の話。「身近な地名を楽しむ」と題して、らんじよ、はんにゃ、となみなどの地名の由来などを聞きました。となみは古代からある地名で、一説によれば、峠を越える鳥を捕獲する鳥網(とあみ)が転訛したもので、奈良時代には止奈美と表記したなどという話や、余談として尻毛、股毛、



女体入口などという珍地名が現に存在するなどという話を楽しみました。午後の書写・朗読の集いは正信偈101行から108行まで、源信和上について述べられた部分を読経し書写しました。

次回は12月20日(土曜日)です。 第三水曜の17日に光寿会役員会の行事があるため、土曜日に変更しました。ご了承下さい。

10時すぎより、年忘れ爆笑大画面ビデオ「綾小路きみまろ」を予定しております。ご来亭をお待ちしています。



いかるぎ 木 鶴
「直葬」 って知ってますか
 過日ある集まりで「直葬」という言葉が話題になりました。直葬というのは、通夜や葬式を行わず、少人数が火葬場で故人に別れを告げる弔い方のことで、費用もおおむね四十万円程度。

ある大手の葬儀社によれば、この直葬が最近急増し、今では取り扱いの約四割が直葬になったとのことです。

(日本経済新聞十月十七日付け)

通夜、葬儀もなく死の床から火葬場に直送というのは、いかにも寂しい話ですが、これも少子高齢化が進んだことと共に、人と人との絆が薄れつつある現代の世相を反映しているのかもしれない。その場では野菜なら産地直送だが、人間の場合はさしずめ「散地直葬」とでも言うべきかという冗談も出ましたが、家族葬や遺骨の散灰なども含めて、葬儀の在り方が多様化している今日、私たちがそれぞれに自らの「送られ方」を考えることが必要な時代になったのかもしれない。

秋の一泊旅行収支報告

収入	会費	495.000
	男16.	000*15
		=240.000
	女15.	000*17
		=255.000
	助成金	63.919
	合計	558.919
支出	旅行社	536.149
	林酒店	22.770
	合計	558.919
差引		0

12月行事予定

★	1日	定例役員会
★	8日	忘年会
★	9日	友愛弁当配布
★	16日	役員研修旅行
★	20日	らんじよ浮世亭

織の場として活用するなど、庄川右岸の消防、救急の拠点となります。

工事費は約一億円、祈願祭の席上、今限りで引退する安念鉄夫市長が「庄東地区は高齢化が進んでおり、出張所建設は十年來の懸案だった。これで平等な消防、救急体制に出来ると思う」と語りました